

国道414号静岡バイパス第1期工区

—安全・安心の“みちづくり”を目指して—

静岡県沼津土木事務所

■事業の概要

国道414号は、全国屈指の観光地伊豆半島の下田市と沼津市をつなぐ幹線道路であり、日常生活はもとより観光シーズンには観光地伊豆へのアクセス道路として、重要な役割を担っています。

しかし、朝夕の通勤時間帯や観光シーズンにおいては、狭隘区間等にて発生する慢性的な渋滞が発生しています。

国道414号静岡バイパスは、このような慢性的な渋滞等の解消に向け、沼津市下香貫地区から伊豆の国市南江間地区までの延長約7.0kmの計画であり、この計画は、平成4年に都市計画決定されました。

■現道の概況

現在の国道414号は2車線道路であり、災害時における緊急輸送路としても位置付けられています。また歩道幅員も総じて狭く、路線にある下香貫交差点、旧静岡西小学校入口交差点、口野放水路交差点の3地点は、主要渋滞箇所としても挙げられ、車両の通行に支障をきたしているほか、通勤・通学者を含め歩行者の安全確保が課題となっています。



■計画の概要

全体計画	
●路線名	一般国道414号
●施行場所	沼津市下香貫地区～伊豆の国市南江間地区
●延長	7.0km
●道路規格	第4種第1級(沼津市下香貫地区～伊豆の国市南江間地区) 一部区間第3種第2級(沼津市下香貫地区～同市大平地区)
●設計速度	60km/hr
●幅員構成	全体幅員27m(平地部)、上り下り各2車線(1車線当たり車道幅員3.25m)
●主要構造物	2トンネル、高架橋

※当方は、暫定2車線にて、平成30年代初期頃を目安に沼津市下香貫地区から同市大平地区に至る区間の暫定供用を開始します。全体供用は、暫定供用後の諸情勢を踏まえ、順次の整備を予定しています。

全体計画図

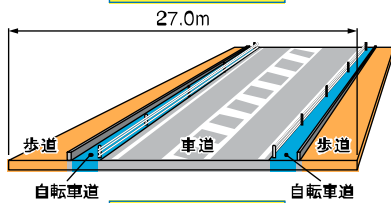
位置図



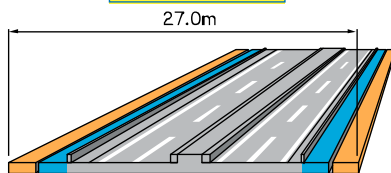
バイパス整備の方法

国道414号静浦バイパスは、両側歩道のある4車線道路(全幅27m)を計画しています。現在事業中の下香貫交差点から(仮)沼津大平ICまでの間に計画する(仮)静浦1号トンネルでは、暫定として南側に位置するトンネルを先行し整備します。また、(仮)沼津大平IC以南は、一般道路区間を2車線で整備した後、順次トンネルや高架橋区間の整備を進めます。

当面の通行方法



将来形



凡例	
	国道
	県道
	IC
	伊豆中央道
	静浦バイパス(計画区間)
	トンネル坑口
	主要渋滞箇所
	鉄道

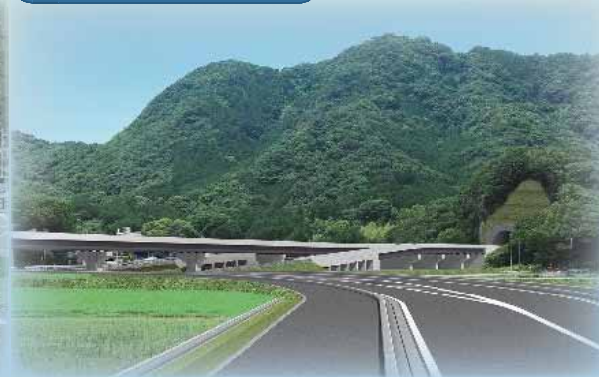
① 下香貫地区(一般道路区間)



② 下香貫地区(トンネル坑口付近)



③ 大平地区(高架橋区間)



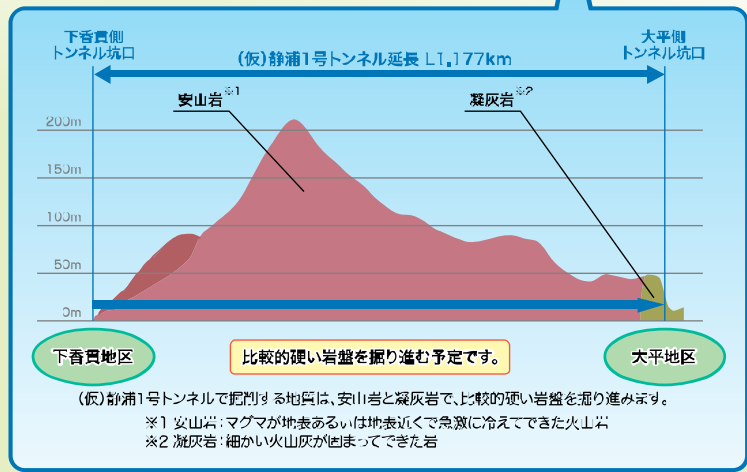
④ 大平地区(高架橋区間)



完成予想図

第1期工区の概要

第1期工区は、国道414号静岡バイパス7.0kmのうち、沼津市下香貫地区から同市大平地区に至る2.5kmの区間であり、(仮)沼津大平ICからは一般県道原木沼津線に接続します。(仮)沼津大平IC以南の次期の工区整備により、交通量の分散や渋滞緩和等の大きな効果が見込まれていますが、1期工区の整備でもこのような効果が期待されています。



凡例

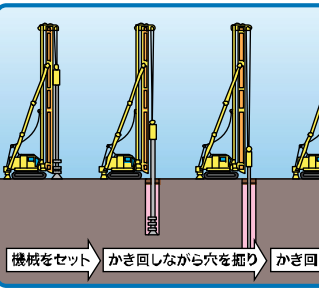
	国道		静岡バイパス(将来形)
	県道		トンネル坑口
	IC		静岡バイパス(第1期工区)
	河川		

主な工事状況

●専門の機械で地上の土とセメントを混合し、柱状の改良体をつくります。

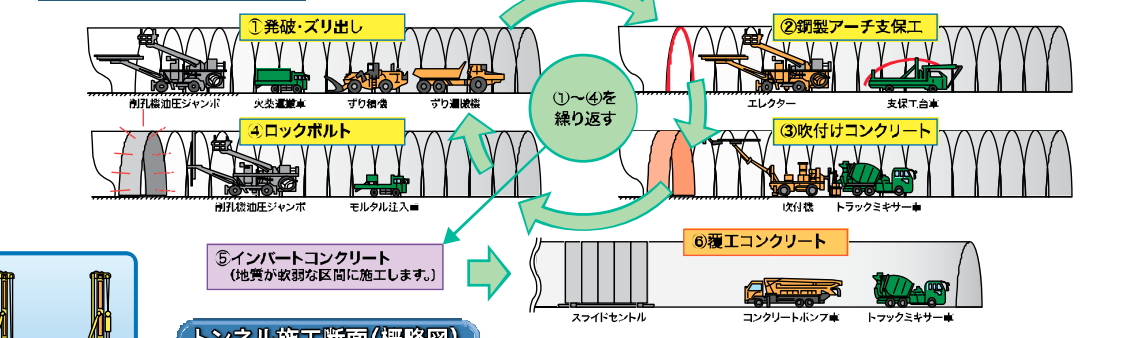


地盤改良工事



●トンネルはNATM工法を用い、防音ハウス、防音壁や漏水処理設備等の環境保全設備を設けながら発破により掘削を進めます。なお、掘削は、沼津市下香貫側より同市大平側に向け掘り進めています。

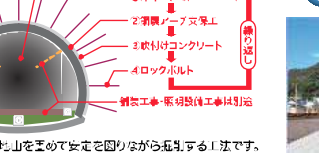
トンネル工事施工手順



トンネル施工断面(概略図)

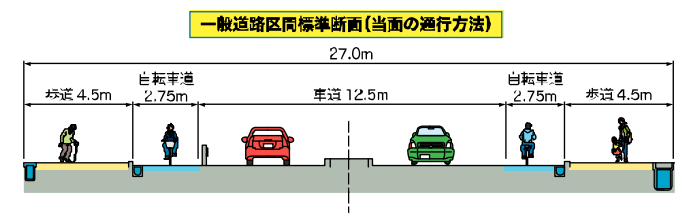


トンネル坑口部の環境保全設備



計画概要

第1期工区	
●施工場所	沼津市下香貫地区～沼津市大平地区
●延長	2.5km
●道路規格	第4種第1級(一部区間第3種第2級)
●設計速度	60km/hr
●幅員構成(平地部)	全体幅員27m、上り下り各1車線(1車線当たり車道幅員3.25m)
●主要構造物	(仮)静岡1号トンネル(1.177m)、(仮)大平高架橋



期待される整備効果



国道414号静浦バイパスが開通すると

慢性的な渋滞の緩和

安全性の確保・向上

走行性の向上と沿道環境の改善

交通ネットワークの多重化

などの効果が期待できます。

事業の推移

平成4年	都市計画決定((都)沼津静浦線)
平成6年	事業着手(測量、調査、設計)
平成7年	用地買収開始
平成13年	工事着手(一部)
平成24年	下香貫地区の用地買収完了
平成25年	大平地区の地盤改良工事着手
平成26年	下香貫地区と大平地区をつなぐ(仮)静浦1号トンネルの工事着手
同 年	高架橋下部工事着手(大平地区)
平成29年	高架橋上部工の据付け(大平地区、予定)
同 年	(仮)静浦1号トンネルの設備工事着手(予定)
平成30年代初期頃	沼津市下香貫地区から同市大平地区に至る区間の暫定供用開始(予定)

※全体供用は、暫定供用後の緒情勢を踏まえ、順次の整備を予定しています。

ふじのくにの“みちづくり”

静岡県では、道路を取り巻く様々な環境の変化などを踏まえながら、道路予算の見通しや増加する維持・更新費用等を見据え、真に必要な道路は“整備”しつつ、今ある道路施設を効率的に“保全”し、有効に“活用”する「道路マネジメント」の考え方をこれまで以上に積極的に推進しています。また重点的に取り組むみちづくり、その効果を表す数値目標、その進捗状況、地域ごとの課題などを整理しながら、平成25年度から概ね10年間の「道路ビジョン」と、5年間の「道路重点計画」を示しつつ、「命と暮らしを守る」、「地域の自立の実現」、「豊かさの実現」の3つの基本目標、8つの重点施策、15の数値目標をもって、基本理念である「東海道新時代を拓くふじのくにの“みちづくり”」を推進しています。

基本理念

東海道新時代を拓く
ふじのくにの“みちづくり”

視 点

保全(まもる)

活用(いかす)

保全・活用・整備を総合的に行なう

道路マネジメント

真に必要な道路を

整備(つくる)

基本目標・施策の方向

県民一人ひとりの命と暮らしを守る

ふじのくにの“みちづくり”

- ①災害に強く信頼性の高いみちづくり
- ②安全な生活を実現するみちづくり

命と暮らしを守る

快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進める

ふじのくにの“みちづくり”

- ③多様な交流や経済活動を支えるみちづくり
- ④地域の生活と自立を支援するみちづくり

地域の自立の実現

暮らしの質を向上させる

ふじのくにの“みちづくり”

- ⑤美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

豊かさの実現

重点的に取り組む重点施策

重点施策

- ①高規格幹線道の未整備区間の解消
- ②地域の孤立等を防止する防災機能の強化
- ③安全な道路環境を確保する交通安全対策
- ④道路施設の適切な維持管理

- ⑤幹線道路ネットワークの構築
- ⑥交通円滑化を図る渋滞対策

- ⑦景観や自然環境に配慮した道路整備
- ⑧身近な道路環境の改善

※15の数値目標他、詳しくは、静岡県交通基盤部道路局のホームページをご覧ください。
(<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-210/index.html>)

●なお、(国)414号静浦バイパスは、東部地域にあって、「地域の自立の実現」に向け取り組んでいる事業です。

■お問い合わせ先

静岡県 沼津土木事務所 工事第1課

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3
TEL.055-920-2216 (直通) FAX.055-926-5527 (直通)

ホームページ/<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830>

